

こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2021年3月7日 NO.1088

きらとみひこ

吉良富彦 です

事務所 新屋敷事務所 823-5878
 事務所 藪野事務所 846-2046
 事務所 県議会控室 823-9524

ビキニデーin高知 被ばく67年目に初開催

●2021年1月、核兵器の開発、保有、使用、威嚇を国際法違反とし、「核なき世界」へと人類が大きく歩み始める核兵器禁止条約が発効した。この歴史的な成果に励まされ「ビキニデーin高知」が開催されます。

1954年3月1日～14日、ビキニ環礁など計6回のアメリカの水爆実験によって第五福竜丸だけでなく、高知のマグロ漁船が延270隻（全国延1000隻）の乗組員が被ばくした。ビキニ環礁での米水爆実験に遭遇し一番多く被ばくしたマグロ漁船の船籍は高知でした。しかし、この被ばく事実は、日米両政府の政治決着によって60年間隠ぺいされ、元マグロ漁船員と遺族は、いまだに救済されていません。この集会は、ビキニ核被災者と世界の核被災者の救済を求める目的をもち、初めて高知で開催されるものです。

「ビキニデーin高知」3/5(金)～14(日)

- ◎写真展：3月5日～14日（高知市自由民権記念館）
- ◎フィールドワーク：3月6日（土）（室戸&幡多）
- ◎「ビキニデーin高知」全体集会：3月7日（日）9：30～15：30（高知城ホール）

記念講演：川崎哲（ノーベル平和賞受賞 Ican 国際運営員） 内藤雅義弁護士、

- ◎映画会：『第5福竜丸』3月13日（土）午後1時～9時 2時間おきに4回上映（高知市自由民権記念館）

写真・第二幸成丸

「ビキニ事件」核被災者と世界の核被災者支援

隠された被ばく者たち 真実と生きた証

私たちも応援します 2021年3月5日(金)～3月14日(日)

3月6日(土) 「元マグロ漁船員」と語るフィールドワーク 参加費：各コース6,000円

3月7日(日) 全体集会 9：30～15：30 参加費：1,500円

コース 室戸コース、幡多コース 会場 高知城ホール4階

写真展 3/5～3/14 (3/8(月)休館) 高知市立自由民権記念館

映画上映 「第五福竜丸」「高知県被災者の肖像、遠洋漁業の記憶2020」を2カ所上映 2/28(日)室戸市保健福祉センター「やすらぎ」会議室 3/13(土)自由民権記念館

パネルディスカッション 「ビキニ核被災者支援とこれからの運動」

記念講演 ①「原爆症認定訴訟とビキニ被災者救済の展望」 講師：内藤雅義さん（日本反核法律家協会副会長） ②「核兵器の終わりの始まりー核兵器禁止条約発効後の世界と日本ー」 講師：川崎哲さん（ピースボート共同代表・ICAN国際運営委員）

川崎 哲 (ピースボート共同代表・ICAN国際運営委員)

星 正治 (広島大学名誉教授・理学博士)

明神照男 (明神水産元会長)

高知県原水協

最新情報はHPをチェック！

【主 催】「ビキニデーin高知」実行委員会 【事務局団体】太平洋核被災支援センター・ビキニ労災訴訟を支援する会・高知県原水権対策協議会 【後 援】高知県（高知県は公益に資する自由な議論の確保のため当該事業を支援しています）、高知市・室戸市・土佐清水市・幡多市・土佐市・黒潮町、NHK高知放送局、テレビ高知、RKC高知放送、さんぽテレビ、高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、原水権禁止日本協議会

●「子どもと教育を守る高知県連絡会」の総会に参加。記念講演で鈴木大裕さんは、コロナ禍で日本の教育は大きく問い直された、「教育とは人生の準備ではなく、人生そのもの」「子どもたちと学ぶ喜びを分かち合って、学び方を教えてほしい」「教育とは、バケツに水を満たすことではなく、心に火をつけること」等々希望を語ってくれました。

●県議会一問一答質問

①9日(火) 11時25分～12時5分 中根さち議員

②9日(火) 4時10分～4時50分

カラリンにやんでも通信

